

令和6年

第5回5月定例教育委員会議事録

令和6年5月29日

大野城市教育委員会

次 第

- 1 招集日時
 - 招集日 令和6年5月29日
 - 開会時間 午前10時00分
 - 閉会時間 午前10時25分
- 2 招集の場所 大野城市役所 本館3階 災害対策本部室
- 3 会議次第
 - (1) 議事録署名委員
 - 令和6年第4回議事録の署名委員 松本 民仁 委員
 - 令和6年第5回議事録の署名委員 藤河 久美 委員
 - (2) 議事
 - 第18号 大野城市学校運営協議会委員の任命について
(大野北小学校・平野小学校)
 - 第19号 大野城市教育支援委員会委員の委嘱等について
 - (3) 教育長報告
 - (4) 報告
 - ①1学期学校訪問について
 - (5) その他
 - ①教育長の業務報告(4月～5月分)
 - ②教育委員会の主な行事・業務の予定(6月分)
- 4 出席した委員等 伊藤 啓二(教育長) 松本 民仁 高野 英機
山口 典子 藤河 久美 佐藤 友恵
- 5 欠席した委員 なし
- 6 出席した職員 教 育 部 長 若山 純哉
教 育 政 策 課 長 光野 直隆
教 育 振 興 課 長 松岡 真彦
教 育 支 援 課 長 山崎 栄子
教育支援課主幹指導主事 平井 源樹
ス ポ ー ツ 課 長 中原 英貴
教 育 政 策 課 係 長 川口 司寛
教 育 政 策 課 担 当 吉富 咲紀
教 育 政 策 課 担 当 橋本 由美
- 7 会議の書記 教育政策課担当 橋本 由美

午前10時00分 開会

○伊藤教育長

ただいまから令和6年5月定例教育委員会を開会いたします。

〔会議録承認〕

○伊藤教育長

まずは、議事録の承認に入ります。

前回、4月定例会で松本委員にお願いをしておりましたので、署名をお願いいたします。

それでは、今回の議事録の署名については藤河委員にお願いいたします。次回の委員会にてご署名をお願いします。

〔議 事〕

○伊藤教育長

それでは、次第の3、議事に入ります。

〔第18号議案 大野城市学校運営協議会委員の任命について〕

第18号議案、大野城市学校運営協議会委員の任命について、山崎教育支援課長、説明をお願いします。

○山崎教育支援課長

では、資料の1ページをご覧ください。

第18号議案、大野城市学校運営協議会委員の任命について説明させていただきます。

学校運営協議会委員につきましては、大野城市学校運営協議会規則第4条の規定に基づき、教育委員会が任命することとされておりますので、今回承認を求めるものでございます。

今回は2校分の承認をお願いいたします。各校ともに、委員の任期は令和6年5月29日から令和7年3月31日までとしております。

説明は以上でございます。

○伊藤教育長

それでは、ただいまの説明について何か質問はございませんか。よろしいでしょうか。

それでは、これより採決に入ります。

第18号議案について承認することに異議はありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○伊藤教育長

異議なしですので、第18号議案については承認すべきものと決めます。

[第19号議案 大野城市教育支援委員会委員の委嘱等について]

続いて、第19号議案、大野城市教育支援委員会委員の委嘱等について、山崎教育支援課長、説明をお願いします。

○山崎教育支援課長

では、4ページをお開きください。

第19号議案、大野城市教育支援委員会委員の委嘱等について説明をいたします。

大野城市教育支援委員会委員につきましては、大野城市教育支援委員会規則第3条において、教育委員会が任命または委嘱することとされておりますので、今回承認を求めるものでございます。

委員の任期は、令和6年5月29日から令和7年3月31日までとしております。

説明は以上でございます。

○伊藤教育長

それでは、ただいまの説明について何か質問はありませんでしょうか。

それでは、これより採決に入ります。

第19号議案について、承認することに異議はありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○伊藤教育長

異議なしですので、第19号議案について承認すべきものと決めます。

〔教育長報告〕

○伊藤教育長

それでは、続いて、次第の4、教育長報告に入ります。

資料の6ページをご覧ください。

先日、福岡教育事務所管内の教育長会がありまして、その際に配られた資料でございます。

6ページの資料は、市町村立学校管理職試験についてということで、令和7年度の管理職試験の概要が示されました。この表は、左側が校長任用候補者、右側が教頭任用候補者の出願方法、出願資格、選考試験の方法、試験実施期日などが記載されております。

変更点が、今年、教頭任用候補者試験の年齢下限というのが39歳となりました。昨年度までは41歳でした。

この変更は、まずは年齢構成等の変化に対応するということと、受験者数が年々少なくなってきているので、幅を広げるということでの対応だということですが、

それから、7ページ、主幹教諭、指導教諭の試験についてです。この表は右側に令和6年度、左側に令和7年度と並べて表示してありますので、見比べていただければと思いますが、ここに関しても、令和7年度の年齢下限が34歳に引き下げられます。36歳から34歳に変わるということです。理由は同じでございます。

やはり、福岡県は中堅層が少なくなっておりますので、受験の年齢を少し低くして選考枠をできるだけ広げたいということですが、経験年数など様々、本人の資質や能力等も勘案しながら、適切に推薦をしていただきたいと思いますところですが、

管理職試験等の変更内容については以上でございます。

続いて、8～12ページ、これも、先日の管内の教育長会で配付されたもので、教育事務所管内の各市町村教育委員会の教育施策を一覧にしたものです。

どんな項目が書いてあるかということ、左側が学力関係ですね。それから2番目、英語力、ICTの活用、それから真ん中はいじめ・不登校等に関する取り組み、そして、外国人への日本語指導に関する取り組みや地域連携の取り組みなどが載っています。

右側には、人的配置の状況で、教育支援センターの人員や特別支援教育支援員の人

員、SC、SSWの数などが載せてあります。令和6年度の状況ということで上がっております。一覧で見ていただくと、どういうところが充実しているか、どういうところが違うかなどが見えてくるとと思いますので、管内の状況を理解する一つの手がかりとしてご覧いただければと思います。細かいところの説明は、ここでは省略をさせていただきたいと思います。

取扱注意の資料になっております。以上です。

私からの報告は以上でございますが、何かこの点についてご質問がありましたら、お願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員

教育施策調査についての一覧についてですが、大野城市はICTの活用を率先されていることがよく分かりました。

他市の取り組みについては、Q-Uテストを行っている市が結構多いなという印象ですが、大野城市ではそういった学級運営や学校運営に関する見える化のようなものに関して、何か今現在の取り組み、もしくは今後計画をしている施策などありますでしょうか。

○伊藤教育長

では、Q-Uだけでなくも構いません、そういった調査、テストをやっている状況等が分かりましたらお願いします。

○平井教育支援課主幹指導主事

教育委員会として、これをやってくださいというのはないんですが、子どもたちの集団を把握する、そういったQ-Uに代わるものとして、アセス(ASSESS)という無料でできるものがございます。Q-Uと内容はほぼ同じです。そういったものを学校独自にやっているところがございますので、そういった点から、学校の実態に応じた取り組みがなされているところでございます。

以上でございます。

○佐藤委員

このQ-Uに関するものが、いじめや不登校の取り組みに入っている形になるので、アセス（ASSESS）も同じようなものとのことですが、そういったものを活用して、大野城市がよくなっていけばいいなと思いました。

以上です。

○伊藤教育長

追加して何かありますか。

○平井教育支援課主幹指導主事

大野城市は、不登校に関して、事前に状況を把握した上で先立って手を打てるような、そういった取り組みに独自で調査・研究して取りかかっているところですので、そういった点から大野城市独自の発信をしていきたいと思っているところでございます。

○佐藤委員

ぜひよろしくをお願いします。

○伊藤教育長

そのほか、何かありますでしょうか。

山口委員。

○山口委員

地域によっては、大学などとの連携が記載されてありますが、大野城市も大学との連携は何かありますか。

○伊藤教育長

大学との連携について、何かありましたらお願いします。

山崎教育支援課長。

○山崎教育支援課長

大野城市教育委員会は、今、福岡女学院大学と連携協定を結んでおりますのと、大野城市のほうは九州大学と連携協定を結んでおりますので、学生さんの派遣などというところで協力をいただいております。

また、個別の事業において福岡教育大学と協力をさせていただき、こちらも学生さんの派遣等をお願いしたり、あと、近くの大学では、筑紫女学園大学、西南学院大学、福岡大学、中村学園大学などの学生さんも各学校現場でボランティアとして活動してくださったりなどというようなことがございます。

○山口委員

ありがとうございます。

○伊藤教育長

よろしいですか。

○山口委員

はい。

別件ですが、タブレット学習に関して、今、持ち帰りの宿題をしていると聞いています。教育委員会が学校に伝達をして、各学校が取り組んでいると思うんですが、把握している範囲で、実態を教えてくださいたいです。

○伊藤教育長

松岡教育振興課長。

○松岡教育振興課長

タブレットを使用した持ち帰りの宿題は、電子ドリルなどを使って各学校取り組んでいただいているところです。全ての学校で今年度から取り組んでくださいということをお願いしているところでございます。

○山口委員

これからですね。

○伊藤教育長

また次回で構わないので、どういう状況か、ご報告いただけるとありがたいなと思います。

○松岡教育振興課長

はい、分かりました。

○山口委員

分かりました。

○伊藤教育長

そのほかに何かありましたら。よろしいですか。

[報告]

○伊藤教育長

それでは、続いて5番の報告です。

1学期学校訪問について、平井教育支援課主幹指導主事、説明をお願いします。

○平井教育支援課主幹指導主事

1学期の学校訪問について説明させていただきます。

13ページの表をご覧ください。

大野南小学校、大野東小学校、大野中学校の3校で実施いたします。訪問日、市役所出発時刻、開始時刻等、ご確認をお願いいたします。

お車で直接行かれる方は、昨年度からご利用いただいておりますこちらの駐車許可証をご持参ください。

当日はどうぞよろしくをお願いいたします。

以上でございます。

○伊藤教育長

何か、ご質問ありますでしょうか。よろしいですか。

[その他]

(1) 教育長業務報告（4月～5月分）

(2) 教育委員会の主な行事・業務の予定（6月分）

○伊藤教育長

では、これもちまして5月の定例教育委員会を閉会いたします。

午前10時25分 閉会